

学校運営協議会の運営を応援します

～人と人とのつながりづくり・地域づくりを進めます～

市内全ての小・中学校の学校運営協議会が、スタートしました。委員の任命書の授与に際しましては、大変お世話になりました。第1回の取組の一部を紹介いたします。

【委員が話をする場をたくさん設け、和やかな会にするための工夫】

1. エピソードが加わった校長先生の最初のあいさつで、会がなごやかや雰囲気

○子どもの頃の夢を紹介

- ・仮面ライダーになりたかった
- ・先生になりたかった

○地域のおいしい食べ物を発見したことを紹介

- ・そばやさんで食べたもつ煮込み定食がおいしかったです

○好きな食べ物を紹介

- ・麺類が好きです（ラーメン、そば：写真付きで紹介）

最初のあいさつ、これが決定的に雰囲気をつくります。会長・課長・館長・校長など『長』がつくひとたちの丁寧なあいさつとして参加へのお礼や昨今の状況も語ることは必要ですが、会議の意義や成果を求めてしまうと、ついつい高度で水準の高い目標を提示してしまいがちです。また、「**硬いあいさつ**」は参加者に無言の圧力を与えている**こともあります。**例えば、**あいさつに上記のようなエピソードを1つ入れるだけでも、参加者が発言しやすい雰囲気をつくります。** [コミュニティ活動啓発資料『「エピソード」を生かした話し合いや会議の進め方』2023.3.31 発行（一般社団法人とちぎ市民協働研究会 廣瀬隆人氏）]

2. “わくわくサイコロトーク”で自己紹介、緊張が和らぎました



▲落合中：どの数字がでるかドキドキ、ワクワク



- 1：子どもの頃の夢
- 2：最近買ったもの
- 3：子どもの頃の自分
- 4：好きな給食の献立
- 5：最近あった心あたたまる話
- 6：密かな楽しみ

3. 学校経営方針を伝えるための工夫 “見える化”

第1回目の学校運営協議会で校長は、教育目標や学校経営計画、教育課程の編成等、学校運営に関する基本的な方針を説明し、委員の「承認」を得ることであります。**校長先生にとって、保護者や地域の方に、今年度自分が思い描く学校運営の方針を、「知っていただく、わかっていただく」重要な機会であり、保護者や地域の方とさらに「つながる」チャンスでもあります。**そのため、伝える内容、伝え方、伝える時間等の仕掛けが求められると思います。

～配布資料の他に “見える化” を意識して説明～



▲轟小

▲藤原中

▲今市中

工夫例

○やさしい、わかりやすい言葉で

○ポイントを絞って



○写真を入れて（子ども、保護者、教職員、地域の方等）

○音楽を入れて 等

4. 学校経営方針をより深く承認してもらうための工夫

学校経営方針の説明後に、「何かありますか?」という問いで「承認」を得ることも一つの方法だと思えます。が、**委員や校長先生にとって、意味のある、積極的な意見交換**にするためには、日光市教育委員会生涯学習課だより『学校運営協議会を応援します』（第2号）でご紹介したように、校長先生の説明の後に、**委員が自分の考えや意見を持ち、それをグループや全体で共有することができるような活動を、意図的に運営側が設けるとよい**と思えます。

～「承認」の前に、自分の考えや意見を交換する時間を設定～



▲大桑小



▲落合西小



▲今市小

5. ふりかえりの重要性を意識し実施(大沢中)

[ファシリテーター]「今日の会の感想や思ったことを一言お願いします。」

- 皆さんと話をし、親しみをもつことができました。
- ドキドキしたけれど、楽しかったです。
- 今まで学校からお願いすることばかりであったと思いました。

※ふりかえり(省察)ってなんだろう？

- ふりかえり(省察)は、**成人教育では、最も重要である。**
- ふりかえりは、**学びや実践から学んだことを未来にいかす**ために、行うものである。
- ふりかえりは、いつも前向きで、未来をどうするかを考えるいとなみである。
- **自分は「何を得た」のか、「何がわかって」、「何がわからないのか」を明確にして、これからどうするかを考える。**

『生涯学習社会教育地域づくり』2022.7.15発行(一般社団法人とちぎ市民協働研究会 廣瀬隆人氏)

6. 委員と教職員と一緒に話し合いを実施



▲猪倉小：話し合いの前にお茶で乾杯



▲小林小・小林中：自己紹介タイム



▲大室小：記録は先生が担当



▲足尾小中：校長先生も一緒にお話

[教員の感想] 最初は緊張しましたが、委員の方と楽しく話ぐできました。地域の方との結びつきが強くなったように感じます。地域との連携が、自分事になりました。

8. 第1回学校運営協議会実施日に、地域学校協働活動(学校と地域が連携・協働した活動)を実施(東中学校)

みんなで若杉っ子を育てる会

～東中学校児童生徒健全育成についての連絡会議～

(1) わらい

- ・保護者・地域の方々との話し合いを通して、保護者や地域の方々の思いを知る。
- ・保護者・地域の方々との話し合いを通じて、大人とのコミュニケーション能力を育成する。
- ・登下校の危険個所の改善や地域活動への要望について話し合い、改善に努める。

(2) 参加者

地区生徒会会長、自治会長、民生委員・児童委員、主任児童委員
交通指導員、PTA本部役員、PTA生活指導部、全職員
学校運営協議会委員、日光小学校児童指導主事

(3) 内容(全体会終了後、4つの分科会会場で地区別懇談会を実施)

- ① 生徒からの提言
- ② 中学生から伝えたいこと、親や大人、地域にお願いしたいこと
 - ・地区の危険個所について
 - ・地域の行事について



▲お互いの思いを伝えあう生徒と大人たち

[学校運営協議会委員のコメント]

- ・初めて出会う生徒でした。生徒の思いを知ることができた貴重な機会でした。
- ・生徒と顔見知りになることができて、とてもうれしかったです。
- ・中学生の力をかりながら、地域の行事を盛り上げたいと思いました。

発行：日光市教育委員会事務局生涯学習課

☎ (21) 5182

担当：湯澤・福田

FAX (21) 5185